

令和 5 年度(第 9 回)薬学教育教科担当教員中央会議 議事録

日 時：2023 年 7 月 25 日（火） 13：00～14：50

（ZOOM による WEB 会議）

場 所：（ホスト会場）薬学教育協議会事務局

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

1. 各教科担当教員会議の活動報告および今年度の活動方針について

2022 年度は、16 教科の会議がオンラインやハイブリッドにて開催され、3 教科の会議が集会形式にて開催された（1 教科は年度内に 2 回開催）。資料 1 に基づき、各教科担当教員会議からの代表者（主には世話人）が 2022 年度の活動報告と 2023 年度の活動方針について報告をし、中央会議として情報を共有した。令和 4 年度改訂版薬学教育モデル・コア・カリキュラムについての協議や講演を行った教科も多くあった。

本間代表理事が、昨年度令和 4 年度改訂版モデル・コア・カリキュラムの作成過程で素案に対して非常に多くの意見をいただいたことについてお礼を述べた。

2. 改訂モデル・コア・カリキュラムについての説明

資料 3-1 に基づき、2023 年 4 月 12 日に薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）について、オンラインシンポジウムを開催したことを報告した。また、薬学教育協議会のホームページに当日の動画を掲載しているのでぜひご覧いただきたいと本間代表理事が発言した。

薬学教育モデル・コア・カリキュラムの円滑な実施に向けた活動について、資料 3-2 に基づき、本間代表理事より以下の点について依頼と説明があった。

- ① 担当教科でコアとして適切かつ必要と考えられる実習や演習内容に関して議論し、まとめていただきたい。
- ② 担当教科のカリキュラムの作成上で工夫されたこと、良い事例、Good Practice として全国で共有すべきことを、今後会議の活動のひとつの柱として、恒常的に議論いただきたい。
- ③ 次期のモデル・コア・カリキュラムの改訂に際しての資料となるように、モデル・コア・カリキュラムの課題、問題点、修正すべき点を、今後会議の活動のひとつの柱として、恒常的に議論いただきたい。

なお、①については、追って、書式や締め切りなどの連絡を早急にするので、ご協力をお願いしたいと本間代表理事が発言した。

以上

別記1 2023年度（第9回）薬学教科担当教員中央会議 出席者名簿

教科名	氏名 (敬称略)	大学名	出欠
有機化学系教科担当教員会議	野下 俊朗	岐阜医療科学大学	○
生薬学・天然物化学教科担当教員会議	塚本 佐知子	熊本大学	○
物理化学系教科担当教員会議	米持 悦生	星薬科大学	○
分析化学系教科担当教員会議	穠山 浩	星薬科大学	○
	小川 美香子	北海道大学薬学部	○
病態・薬物治療等教科担当教員会議	岡村 昇	武庫川女子大学薬学部	○
薬理学関連教科担当教員会議	三澤 日出巳	慶應義塾大学薬学部	○
薬剤学教科担当教員会議	尾上 誠良	静岡県立大学	○
実務実習教科担当教員会議	石川 和宏	北陸大学薬学部	○
ヒューマニティ関連教科担当教員会議	渡邊 文之	日本大学	○
薬学と社会教科担当教員会議	恩田 光子	大阪医科薬科大学薬学部	○
	岸本 桂子	昭和大学薬学部	○
衛生薬学教科担当教員会議	原 俊太郎	昭和大学薬学部	○
放射薬学教科担当教員会議	廣瀬 農	星薬科大学	○
	小川 美香子	北海道大学薬学部	○
日本薬局方教科担当教員会議	大庭 義史	長崎国際大学	○
微生物学教科担当教員会議	黒田 照夫	広島大学	○
医薬品情報学教科担当教員会議	小林 道也	北海道医療大学薬学部	○
	大津 史子	名城大学薬学部	○
生化学分野教科担当教員会議	服部 光治	名古屋市立大学	○
レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議	頭金 正博	名古屋市立大学	○
	細木 るみこ	立命館大学	○
薬科学担当教員会議	首藤 剛	熊本大学	○
	久米 利明	富山大学	○
一般社団法人 薬学教育協議会	本間 浩		○
文部科学省高等教育局医学教育課	大久保 正人		○
	織内 薫		○
	門脇 由佳		○

別記 2 配付資料

資料 1： 令和 4 年度教科担当教員会議開催一覧

資料 2-1～2-18： 令和 4 年度教科担当教員会議議事録

資料 3-1： シンポジウムリーフレット（2023.4.12）

資料 3-2： 薬学教育モデル・コア・カリキュラムの円滑な実施に向けた活動について（お願い）

参考資料： 令和 4 年度（第 8 回）教科担当教員中央会議議事録